

# 令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 しりべし圏域総合支援センター

## 1 事業の成果

コロナ禍の影響が続く状況下では、分散出勤やオンラインの活用を積極的におこない、消毒等の衛生管理なども徹底していたので、事務所を一時休所するなど、事業の機能を停止することなく活動することができました。

### <相談支援事業・基幹相談支援事業>

本年度も引き続き、北後志5ヶ町村（余市町・仁木町・積丹町・古平町・赤井川村）から障害者・児の相談支援事業、基幹相談支援センターの委託を受け事業継続し、地域生活支援拠点コーディネーター機能を持ち、24時間365時間体制で相談対応おこなっています。基本相談支援、計画相談支援、障害児相談支援につきましては、コロナ禍での配慮を心得ながらも緊急対応や新規相談も受入れしています。退院促進事業・地域移行支援等はコロナ禍の影響がまだまだ続く中ではありましたが、少しずつ外出支援等も再開し、退院希望の患者様の新規相談も増えてきています。

北後志地域自立支援協議会事務局活動は、地域生活支援拠点の地域づくりに励み、各部会ではコロナ禍でもハイブリッド形式会議などオンライン活用工夫をして継続した活動をおこなっております。

### <地域活動支援センター事業>

前年度に引き続き余市町より補助を受け、地域活動支援センター事業を実施しました。また、今年度より赤井川村・積丹町・仁木町とも契約を結び、各町村に出向いた活動、余市町外からの利用者様の受入れを開始しております。

### <生活困窮者自立支援事業>

北海道より継続して受託。生活困窮者自立支援事業ではコロナ禍での影響を受けた相談が多い中、職員はコロナ禍に動じることなく感染防止対策を講じて、緊急の相談にも応じ、後志圏域内の広範囲でも出向き迅速な相談対応をしました。

### <精神障がい者地域生活支援事業>

北海道より継続して受託。精神障がい者地域生活支援事業では、ピアサポーターが町内の高校で福祉の授業の講師を務めました。ピアサポーターの体験談を伝え、障がいの理解という授業を通じ若い世代との交流、人材育成活動もおこなっています。

### <自立生活援助事業>

令和3年4月開始の自立生活援助事業は今年度3件の相談2件の利用実績があり、利用希望の新規の相談が増えております。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に 記載した 事業)	事業内容	実施月日	実施場所	従業者の 人数	受託対象者 範囲及び人 数	支出額 (千円)
(1)-⑤ (1)-⑥ -イ)	北後志 5 町村(余市町・仁木町・積丹町・赤井川村・古平町)からの委託を受け障害者本人やご家族からなどからの相談に応じると共にサービス調整や地域の課題解決に取り組んだ コロナ禍で不安になる利用者様も多かったが、職員の健康管理・感染防止対策にもしっかり取り組み、利用者様の支援を継続し、感染拡大の影響はあったものの、事業を休止することなく活動することができた	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日	余市町 仁木町 積丹町 古平町 赤井川村	8 人  (兼務 者含む)	余市町 仁木町 積丹町 古平町 赤井川村 の住民	40,347
(1)-⑥ -ハ)	余市町より補助金を受け、障害のある方や、様々な理由から外に出ることが困難な方へ日中活動できる場の提供や創作活動や生産活動の機会を提供した	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日	余市町 赤井川村 積丹町 仁木町	2 人  (兼務 者含む)	余市町 仁木町 積丹町 古平町 赤井川村 の住民	4,128
(1)-⑦	1 人暮らしの希望がある方や地域で生活していくために援助を必要としている方に事業の説明をおこない、お手伝いできることを周知した。	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日	余市町 仁木町 積丹町 古平町 赤井川村	1 人  (兼務)	余市町 仁木町 積丹町 古平町 赤井川村 の住民	0
(2)	北後志 5 町村(余市町・仁木町・積丹町・赤井川村・	令和 4 年 4 月 1 日	余市町 仁木町	8 人  (兼務)	余市町 仁木町	(1)-⑤ (1)-⑥

	古平町)からの委託を受け障害者本人やご家族からなどからの相談に応じる都共にサービス調整や地域の課題解決に取り組んだ	～ 令和4年 3月31日	積丹町 古平町 赤井川村	者含む)	積丹町 古平町 赤井川村 の住民	-イ)に含まれる金額
(3)	事業の実施なし					
(4)	事業の実施なし					
(5)	事業の実施なし					
(6)	下記(9)に含まれる内容					
(7)	生活困窮者自立支援事業のプロポーザルに応募し、前年度に引き続き受託。後志管内全域の相談者のケースに合った問題解決や自立にむけた支援を行った。昨今のコロナ禍において、生活困窮に陥った方の相談も多く、住宅確保給付金や生活困窮者自立支援金等の相談が継続して多い。また、アウトリーチ支援を行い、地域で暮らしたいが、自らの困難を発信しづらい方の相談支援にも務め家計改善支援等もおこなった。また、緊急の対応も多く、時間外対応ケースも多かった。	令和4年 4月1日 ～ 令和5年 3月31日	余市町 仁木町 積丹町 古平町 赤井川村 神恵内村 泊村 共和町 岩内町 蘭越町 寿都町 島牧村 黒松内町 倶知安町 ニセコ町 留寿都村 真狩村 京極町 喜茂別町	4人 (兼務 者含む)	余市町 仁木町 積丹町 古平町 赤井川村 神恵内村 泊村 共和町 岩内町 蘭越町 寿都町 島牧村 黒松内町 倶知安町 ニセコ町 留寿都村 真狩村 京極町 喜茂別町 の住民	17,976
(8)	事業の実施なし					
(9)	精神障害者地域生活支援事業のプロポーザルに応募し、前年度に引き続き受託。センター長を先頭に地域移行推進員ピアサポー	令和4年 4月1日 ～ 令和5年 3月31日	(7)に 小樽市を 加えた地 域	1人 (兼務 者含む)	(7)に 小樽市を 加えた地 域	6,370

	<p>ターが協力して、病院からの退院支援や地域で精神障害者が自立した生活を営めるよう支援、啓蒙、理解促進に務めた。コロナ禍で例年とおりの活動は難しい状況ではあったが、できる限り利用者様の意向を尊重した活動をおこなった。</p>					
--	---	--	--	--	--	--

(2) その他の事業  
事業の実施なし